

博士のキャリアセミナー 海外で研究すること

オンライン (Zoom)

6/16 月
12:20~14:00

申込

Formsより
申込をお願いいたします



開催概要

大学在籍中の研究留学、博士研究員としての留学、海外でのポスト獲得など、

今後のキャリアで「海外での研究拠点」を考えている/関心があるものの、

「実際に興味はあるけれど、情報収集が難しい」

「情報不足で具体的なイメージが沸きにくい」

・・・と、不安やリスクを感じている方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、現在、海外を拠点とする若手研究者の方々にご登壇いただき、

- ・海外でのポスト獲得までの道のり
- ・留学前後のフェローシップ獲得
- ・渡航先の研究環境と日本との違い
- ・留学後のキャリアパス
- ・海外でのキャリアパスとライフイベントとの両立 など

学生の皆さんが本当に知りたいことを中心にお話をいただきます。

海外での研究拠点を考える学生の皆さんへの未来への参考になれば幸いです。

本日のスピーカー

ボンペウ・ファブラ大学 研究員
南デンマーク大学 助教

専門 人口学

茂木良平 先生



バルセロナ自治大学 人口学センターで博士課程修了（人口学Ph.D.取得）後、オックスフォード大学社会学部研究員を経て現職。専門はデータと統計を用いた先進国の少子化問題の分析。これまでに、日本、ドイツ、イタリア、スペイン、オーストラリア、デンマークの6カ国の研究期間に所属。複数の国のデータを比較することを得意とする。自治体や企業と協働で少子化問題のEBPMにも取り組んでいる。一児の父。

中山大学 博士研究員

専門 素粒子物理学

出川智香子 先生



お茶の水女子大学理学部物理学科卒業、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士前期、後期課程修了。2024年3月に博士号(理学)を取得。同大学で半年間リサーチフェローを務めたのち、中国広東省の中山大学の特別研究員に着任。中国が主導する宇宙重力波望遠鏡計画である天琴プロジェクトの中核研究機関である天琴中心にて、重力波や暗黒物質に関連した研究を素粒子現象論の側面から行っている。

問合せ先



学生・キャリア支援センター

Insei-shien@cc.ocha.ac.jp